

大阪市営バス

“なくてはならないもの” “以前のルートに戻して”

よくする会 アンケート結果を公表

大阪市が検討を進める市営交通民営化の問題で、大阪市をよくする会は22日、大阪市役所で会見し、市バスに関して実施した市民アンケートの結果を公表しました。

アンケートは市バスの乗車目的や自宅からバス停までの所要時間など利用状況を尋ねる内容。16万枚のアンケート付きのヒラを6月以降、市内全

域で配布し、これまでに約950通の回答が寄せられたといいます。

自由記入欄には「市バスはなくてはならないもの。自転車に乗れなくなると高齢者の足です」「区役所に直接行くバスがないのが不便。ルートを以前のようにしてほしい」などの意見が記入されています。

無料証あつて

もバスがない

会見に出席した「障害者(児)を守る全大阪連絡協議会」の泉本徳秀代表

幹事は便数減が日常生活に及ぼす影響について語り、「無料乗車証があっても乗るバスがない」と訴えました。淀川区在住の稲垣泰平さんは同区塚本地区を例に挙げ、路線変更で区役所や病院に行けなくなった高齢者の実態を紹介しました。

パブコメ192人 分を市に提出

よくする会は会見に先立って、大阪州市政改革室を訪れ、地下鉄・バスの民営化などを盛り込んだ「市政改革プラン2・0(素案)」に対するパブリック・コメント192人分を提出しました。